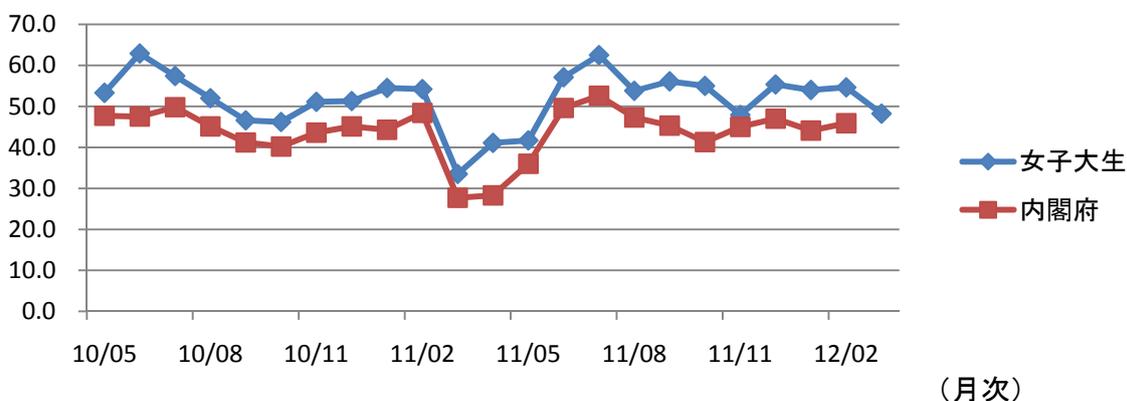


3月は景況悪化

2月の女子大生景気ウォッチャー調査は、景気の現状判断DI（方向）が48.2となり、4ヵ月ぶりに50を割り込んだ。前月比6.4ポイントの大幅悪化。先行きDIも前月比で11.2ポイントも悪化した。

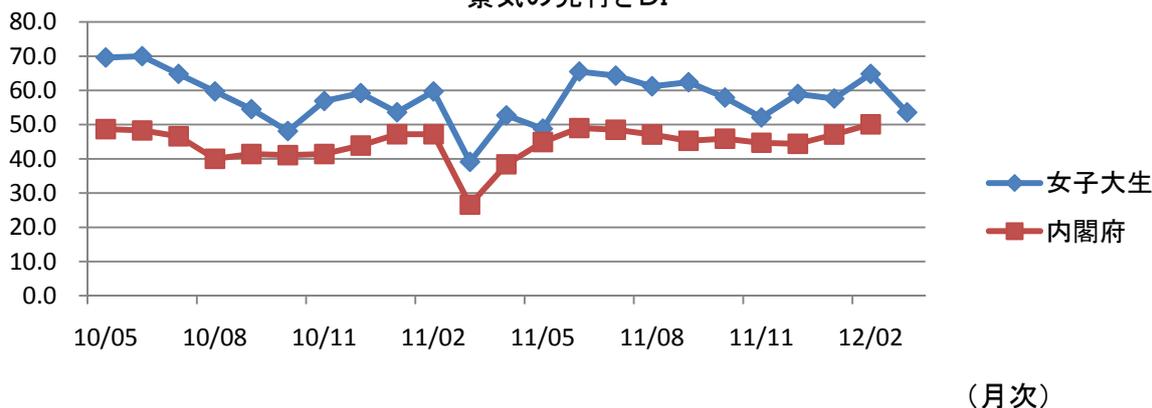
「ガソリンの値上がり」「原油が高くなる傾向」など海外市況の悪化を理由に挙げる学生もいるが、流行の髪型の本を見たときに重めのヘアスタイルが多かった。安定志向の表れかなと思いました。」という独自の景気判断をしている学生がいた。景気が良くなっている理由としては、「円安」「日経平均1万円越え」があり、「池袋映画館の観客が増え、その経済効果で周辺の店舗がすごく混むようになった。」という意見もあった。

景気の現状DI



ませ

景気の先行きDI



景気判断DIは、①良い1点②やや良い0.75点③どちらともいえない0.5点④やや悪い0.25点⑤悪い0点として、それぞれの構成比を乗じて計算する。全員が良いと答えた場合は100、全員が悪いと答えた場合は0となる。